

SOA NEWS

VOL-20 N0.3

2000年5月

(通巻167号)

埼玉県サイクリング協会 〒336-0012 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内
TEL/FAX048-824-2711 SCANET048-824-2710
URL <http://members.cool.ne.jp/~sca/>
E-mail sca@cool.ne.jp

【総会報告】

平成12年度役員総会が4月22日(土)、浜田卓二郎(参議院議員)会長、長沼威(県会議員)副会長をお迎えして、午後4時から青少年会館会議室で開催され、平成11年度事業報告・決算報告、平成12年度事業計画(案)・予算(案)が審議された。その後サイクリスト顕彰が行われ平成11年度受賞者にトロフィーが贈られ総会を終了した。

平成11年度サイクリスト顕彰 <敬称略>

サイクリング功労賞：飯塚啓一

優秀クラブ賞：AMBクラブ OHmaki

サイクリスト賞：辺見栄一

平成12年度行事予定

<自主事業>

4月22日	役員総会	: 青少年会館
5月14日	第15回センチュリーラン埼玉	: 協会指定コース
5月28日	第2回親子ふれあいサイクリング	: 西武競輪場周辺
7月2日	第42回埼玉県サイクリングラリー	: 未定
8月5日~6日	第21回SCAクラブラリー	: 信州塩田平
9月10日	第9回サイクルフェスタ IN 川口	: 川口オートレース場
10月21日~22日	第12回インターナショナルサイクリング	: 秩父リゾート地域
10月28日	第5回サイクリストの集い	: 青少年会館
11月12日	第13回県民総合体育大会サイクルOL大会	: 上尾周辺
12月2日	年末懇親会	: 未定
1月14日	第15回新春サイクリング	: 未定
2月18日	指導者研修会	: 未定
3月18日	サイクリング教室	: 浦和

<参加行事>

7月30日~31日	第44回全国サイクリングラリー	: 東京・お台場
9月23日~24日	第36回関東甲信越サイクリングラリー	: 新潟・湯沢

<インフォメーション>

第15回センチュリーラン埼玉

本大会は4月15日(土)定員に達しましたので締め切りました。申込ありがとうございます。当日は十分注意してサイクリングを楽しんで下さい。

親子ふれあいサイクリング

西武競輪場での体験走行・サイクルゲーム・狭山丘陵ふれあいサイクリングです。ファミリーでなくとも個人でも参加できます。まだ定員に余裕があるのでふるって参加下さい。

期日 平成12年5月28日(日)

開催地 西武競輪場他

参加定員 A. チャレンジザトラック 200人

B. トライアルサイクルゲーム 200人

C. レッツサイクリングin狭山丘陵 100人

申込先 〒336-0001 浦和市常盤4-19-9 NYYビル

(株)TVSサービス内 親子ふれあいサイクリング大会事務局

TEL 048-822-6603 FAX 048-822-6605

埼玉県サイクリングラリー(SCAラリー)

期日 平成12年7月2日(日)

集合 9時(見沼自然公園)

詳細 要項参照

<平成11年度収支決算>

[収入の部]

会費	1,292,000	会費・保険料等
事業参加費	1,328,000	事業参加費
補助金	184,750	育成県民会議・県々協会
需品売上	69,848	会員章・サイクルグッズ
雑収入	111	貯金利子
繰越金	15,805	平成10年度から

[支出の部]

会議費	54,000	総会・常任理事会・委員会等
事業費	940,189	事業費（各種大会）
印刷費	4,100	要項等
役員務費	259,975	郵送電話、交通、食糧費
備品費	74,390	プリンター
育成・奨励費	126,660	クラブ育成・SCLC育成・連絡所
慶弔費	10,000	お祝い・見舞い・香典
負担金	80,000	県民会議・埼青連・県々協・県々協
事務管理費	454,156	事務局経費（会館使用料含）
登録費	135,200	会員・指導者登録
消耗需品費	103,077	消耗品、会員章
保険料	533,540	傷害・賠償保険
準備金	100,000	記念事業費積立

残金15,227円は協会会計平成12年度に繰り越します。

指導者研修会終わる

2000年2月27日（日）、埼玉県青少年会館4階大会議室で指導者研修会が開講された。今回の講習会は、浦和市消防本部に救急救命講習の出張をお願いしたため、サイクリング指導者をはじめ、広くSCA会員に受講対象を広げ、午前9時に開講。まず救急救命法の講習が始まり、予備知識や関連事項等の座学、ビデオによる事例の確認の後、参加者を3班に分け、精巧に作られたダミー（人形）使用による心肺蘇生法の実地講習となり、皆が真剣に取り組んだ。またその他考えられる色々な状況下における対処法なども、各人熱心に質問し教示を受け、止血法、三角巾の使用法についての講習も受け、受講者には修了証が配布された。

昼食後、渡邊、戸田、原田各講師による自転車関係の講習となり、午後4時に閉講した。

救急救命法については盛りだくさんな内容となったため、後日も反復し感覚や手順を忘れないように努力する必要を、また自転車関係の講義においても、これからのサイクリング活動の時に従い思い起こして行動に反映できるよう、消化する必要があると感じた。

記：AMBクラブ OHmaki 鷲津 公有

事務局だより

2000年度の会員登録をしていない方は至急手続きを行って下さい。99年度会員へのニュース発送は今回をもって終了します。

《編集後記》

さわやかな5月はサイクルイベントがいっぱいです。たまには自転車の埃を落としてサイクリングしましょう。

櫻真っ盛りの夜、にんげんどキュメント「女流王将19の春」の石橋棋士の生き方に凄く感動した。生まれながら病弱な彼女は、養護学校と病院を行ったり来たりの生活だった。毎日が流動食、初めて食べることを味わったのが「薬」、いまでも一番好きなのは薬とか??。その彼女の唯一の楽しみは将棋であった。高校3年まで養護学校で生活し、18才で女流棋士になった。一つのことには徹した素晴らしい人生だ。多分一般人ならいろいろな雑念が入りこれほどにはなれないだろう。今でも、病氣と背中合わせの生活だそう。だから恐いものはないと言っていた彼女の言葉がとても印象的だ。そして彼女が養護学校に残した色紙は「万物生きて光輝く」であった。今日はなんて素晴らしい時間を持てたのだろう。